

まちかど

アルバム



鳥取砂丘

美しい砂丘を取り戻そう

7月27日(金)、鳥取砂丘の草原化を防ぎ、本来の姿をよみがえらせようと、ボランティアによる除草活動が今年も始まりました。4年目の初日となったこの日は、212人のボランティアが早朝から参加。取ってはならない砂丘固有の植物について説明を受けた後、汗だくになりながら約1時間半の作業を行いました。

むつみ創作館

上手にできるかな

7月31日(火)、河原町渡一本のむつみ創作館で、「夏休みわくわく体験教室」が開催されました。教室には、河原地域の小学生17人が参加。「河原町陶芸教室」の会員の手ほどきを受けながら、湯飲みや花びんなどを制作しました。作品は、陶芸教室の会員により、約1カ月かけて乾燥させた後、窯焼きし、子どもたちに引き渡されるとのことです。



福部町湯山

砂丘ビーチ砂もり大会

8月5日(日)、福部町湯山の砂丘第2海水浴場で、「第19回砂丘ビーチ砂もり大会」が開催されました。4人1組で長さ3mのロープの輪の中に、砂を盛り上げて高さを競うこの競技。県内外から家族や友達づれなど50組が参加し、夏の太陽の下、海水で砂を固めるなど工夫しながら、上位入賞を目指しました。優勝したのはチーム「ブタックス」で、記録は153cmでした。



鹿野地域

水鉄砲を作ったぞ

鹿野町では、夏休み中の子どもたちを対象に、地域の大人が魚釣りや竹馬などを教える「夏休み子ども塾」を4年前から行っています。7月26日(木)には、勝谷地区公民館で水鉄砲を作る教室が開かれました。参加した子どもたちは、竹を切るところから始め、最初はぎこちなかったのぎりの使い方も、大人たちの指導でみるみる上達。水鉄砲が完成すると、早速、水を入れて発射していました。





かんど
神戸小学校

神戸のももまつり

7月29日(日)、中砂見の神戸小学校体育館で、「神戸のももまつり」が開催されました。平成11年に、神戸のモモを広くPRしようと始まった祭りも今年で9回目。朝穫れたばかりの新鮮な桃を買い求めようと、約千人が来場しました。規格外のモモが格安で販売されたり、抽選で300人に白桃2個がプレゼントされたりするコーナーでは、長い行列ができていました。

あそう
麻生児童館

人権啓発国府町女性集会

7月29日(日)、麻生児童館で、「第25回人権啓発国府町女性集会」が開催されました。約80人の参加者は、「ミニ講演会」、「教科書無償運動に関する資料展示とビデオ上映」など4つのコーナーで学ぶなど、交流を深めました。また、続く報告会では、参加されたみなさんの意見や感想が紹介されました。集会は、「自ら学び、行動して人権のまちづくりを進めていこう」と熱気あるものとなりました。



用瀬町民会館

流しびなで国際交流

7月27日(金)、用瀬町民会館で、ドミニカ共和国の青年10人が「流しびな」作りに挑戦しました。内閣府が主催する国際青年育成交流事業で来日し、鳥取県を訪れた青年たちは、日本の伝統文化やひな祭りについて学びました。その後、地元さんだわらの人の指導のもと、紙粘土とようじで作ったひなをわらで編んださんだわら棧俵さんだわらにのせ、流しびなを完成させました。



あおや和紙工房

和紙と遊ぼう

夏休み期間中、あおや和紙工房で「和紙と遊ぼう 夏休み子ども和紙天国」が開催されました。この催しは、岩美町在住の美術作家、岡野元房もとふささんが企画したもので、ちぎり絵や折り紙を作って遊ぶものです。子どもたちは、夏休みの工作の宿題もできてしまうので、大満足の様子でした。



たんぼり荘

川遊びで新たな発見

7月24日(火)、用瀬町と佐治町の保育園児44人が、佐治町中の「たんぼり荘」そばの河原で、川遊びを楽しみました。始めは水の冷たさに驚いていた子どもたちも、かえって太陽の温かさが感じられたようで、最後は元気に走り回っていました。そして、いろいろな形、色の石を手に取り「卵みたい」、「おにぎりみたい」と想像力を膨らませていました。

